

資料編

- ① 水環境データ集
- ② 環境意識アンケート調査結果
- ③ 村上市環境基本条例
- ④ 策定体制
- ⑤ 策定経過
- ⑥ 新潟県エコアクション
- ⑦ 用語解説

資料編

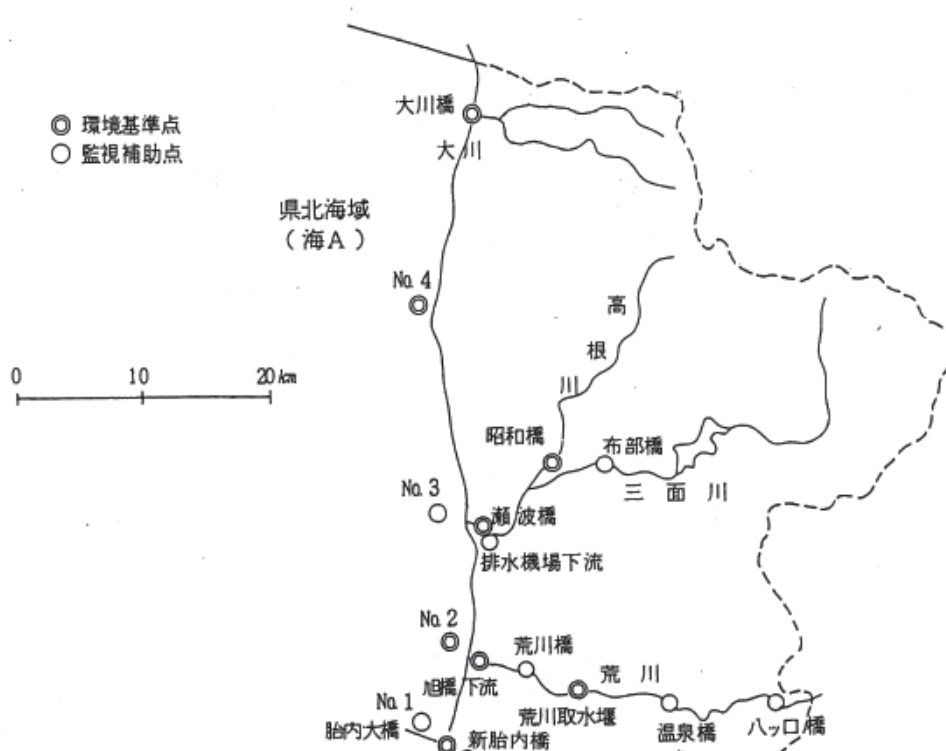
資料編 目次

1. 水環境データ集	1
[pH、DO、SS、BOD 検査結果]	
2. 環境意識アンケート調査結果	6
[市民アンケート調査結果][事業所アンケート調査結果]	
[中学生アンケート調査結果]	
3. 村上市環境基本条例	21
4. 策定体制	27
[環境審議会委員名簿][市民環境ワークショップメンバー名簿]	
[地区環境ワークショップメンバー名簿]	
5. 策定経過	29
6. 新潟県エコアクション	31
[「新潟県環境基本計画」第5章：計画の実効ある推進 p79]	
7. 用語解説	32

1. 水環境データ集

(1) 水環境測定地点

水質の測定地点として、荒川、三面川、高根川、大川及び海域においてそれぞれ基準点と補助点が設定され、定期的に測定が実施されています。本データ集では、河川の測定結果をまとめます。



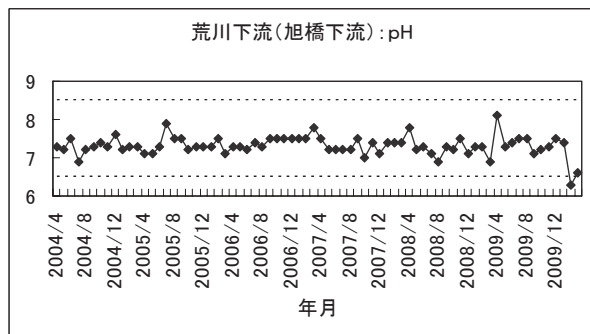
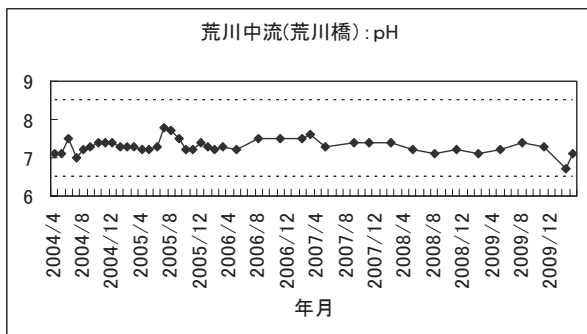
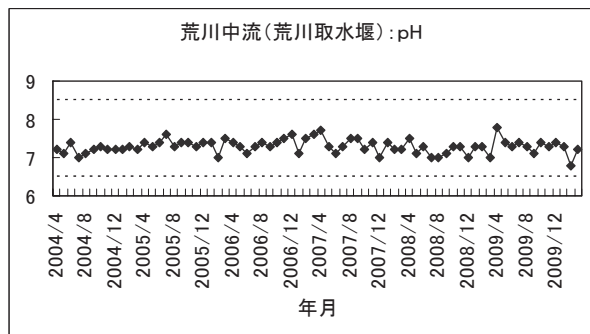
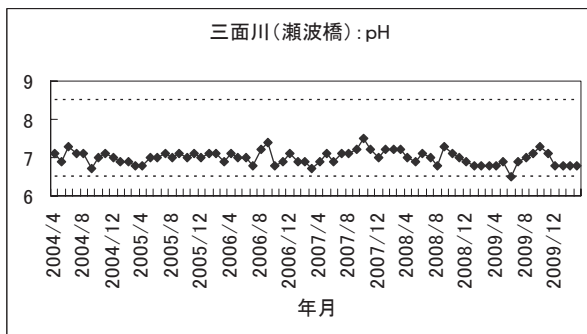
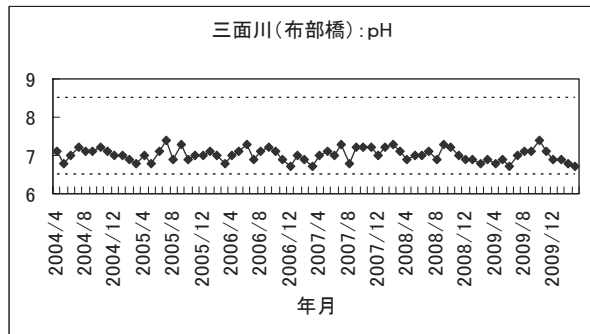
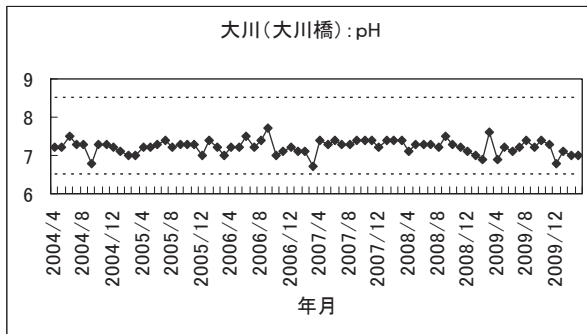
資料：「公共用水域及び地下水の水質調査結果」新潟県
平成 16 年度～平成 22 年度

(2) 測定結果

水質調査が行われている 3 河川（大川、三面川、荒川）では、生活環境項目については利用目的に応じて水域類型があり、各々に環境基準値（基準値については p5 を参照）が定められています。本市における河川の類型は、大川が A、三面川が A、荒川が AA です。生活環境項目（BOD または COD）の環境基準達成状況の評価は、年間の日間平均の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している場合に環境基準達成地点と判断されます。平成 22 年度の調査結果は、健康項目、生活環境項目すべてで環境基準を達成しています。このうち、健康項目については、ほとんどが定量限界以下であるため、下記には生活環境項目の経年変化を示しました。

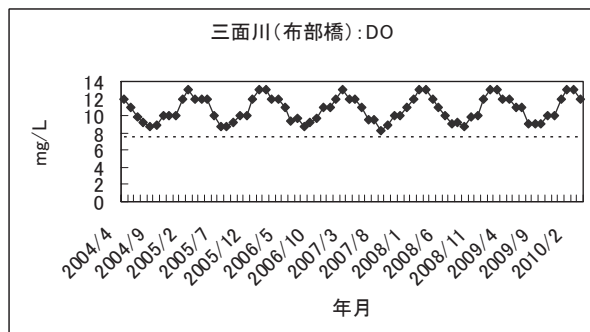
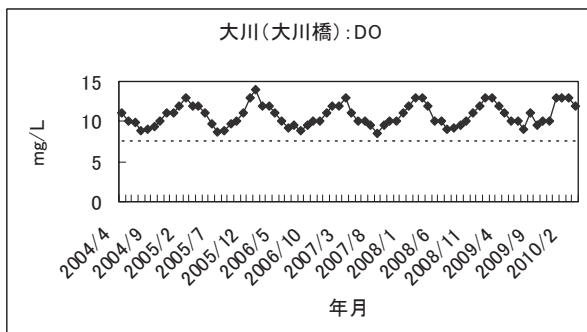
① 水素イオン濃度 (pH) 測定結果

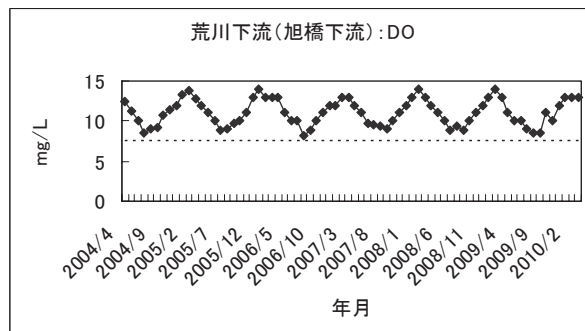
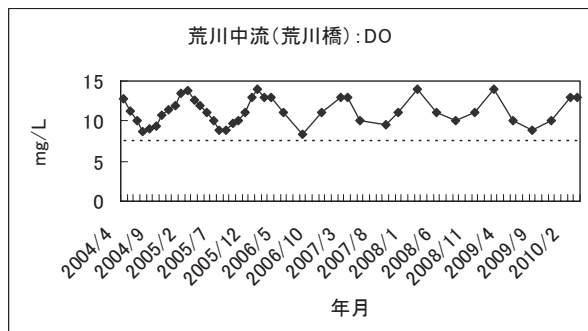
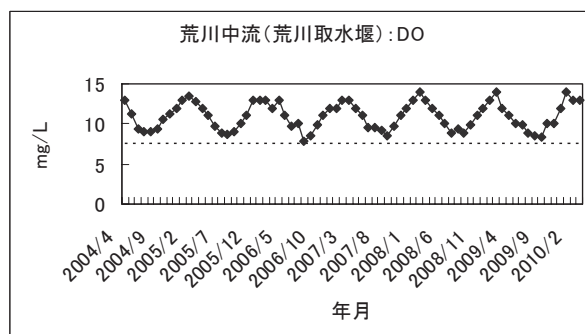
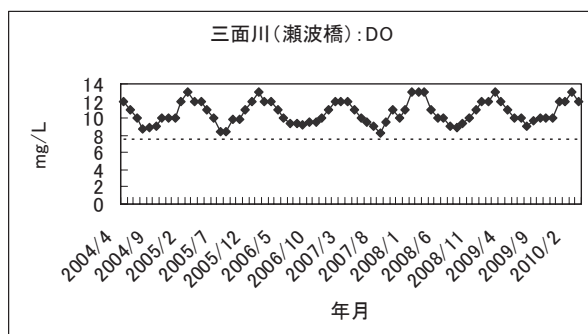
[環境基準値は点線で示した pH=6.5~8.5]



② 溶存酸素量 (DO) 測定結果

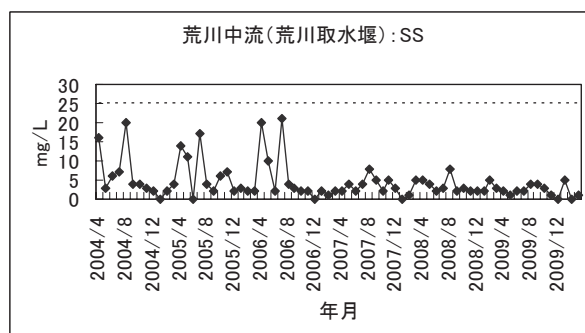
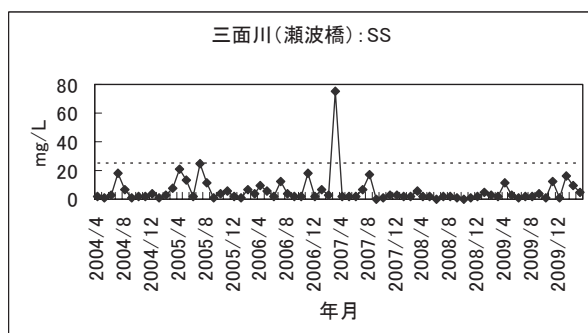
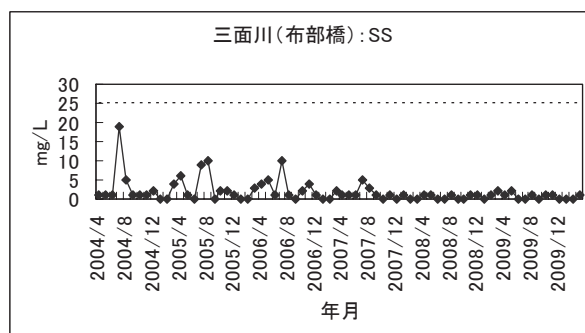
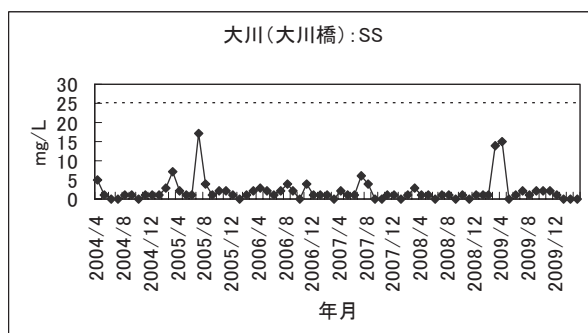
[環境基準値は点線で示した DO=7.5mg/L]

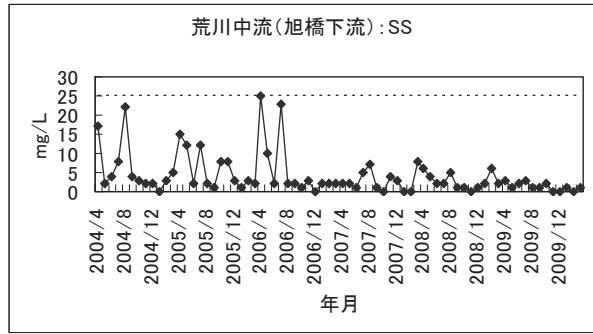
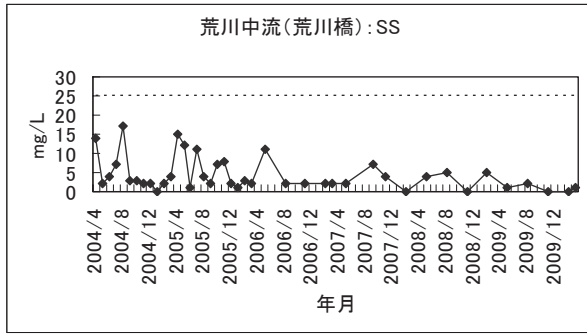




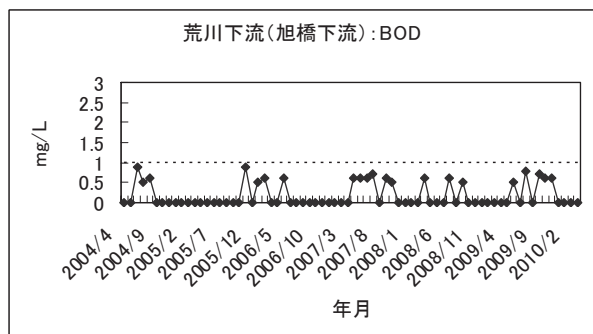
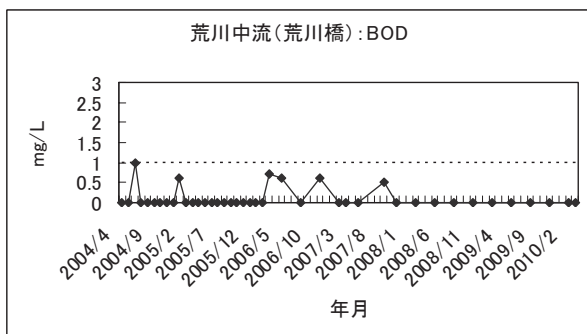
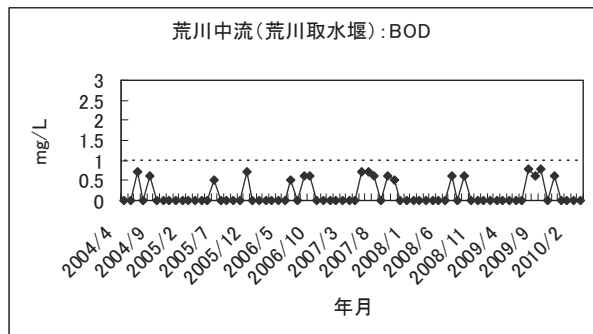
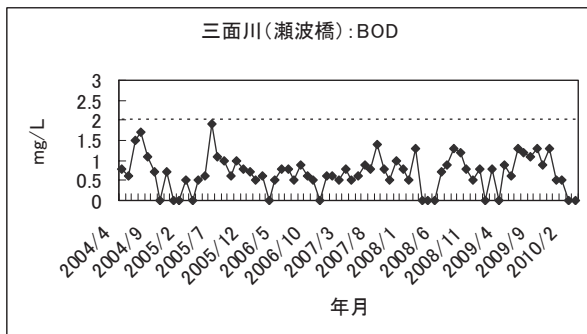
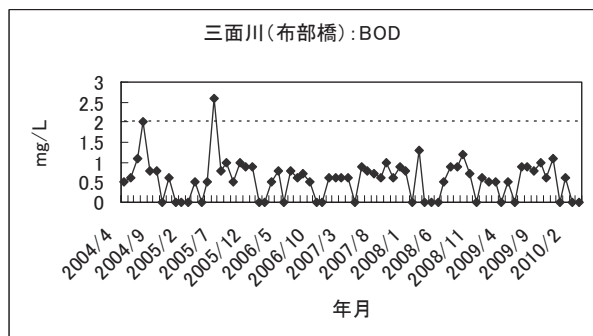
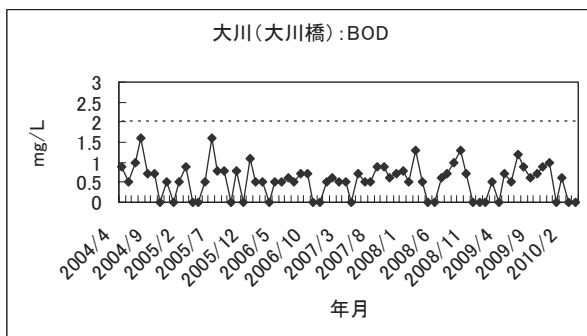
③ 浮遊物質 (SS) 測定結果

[環境基準値は点線で示した SS=25mg/L]





④ 生物化学的酸素要求量 (BOD)測定結果
 [環境基準値は点線で示した BOD=2.0 mg/L]



(3) 生活環境の保全に関する環境基準：河川

項目 目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上	1mg/l	25mg/l	7.5mg/l	50MPN/100ml
		8.5以下	以下	以下	以上	以下
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上	2mg/l	25mg/l	7.5mg/l	1,000MPN/100ml
		8.5以下	以下	以下	以上	以下
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上	3mg/l	25mg/l	5mg/l	5,000MPN/100ml
		8.5以下	以下	以下	以上	以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上	5mg/l	50mg/l	5mg/l	—
		8.5以下	以下	以下	以上	—
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上	8mg/l	100mg/l	2mg/l	—
		8.5以下	以下	以下	以上	—
E	工業用水3級、環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/l 以下	ごみ等の浮遊物が認められないこと。	2mg/l 以上	—

備考 1 基準値は、日間平均値とする（湖沼、海域もこれに準ずる。）。
2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素濃度5mg/l以上とする（湖沼もこれに準ずる。）。

- 注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級：沈澱ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
3 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
4 工業用水1級：沈澱等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの
5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(4) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀
基準値	0.01mg/l 以下	検出されないこと	0.01mg/l 以下	0.05mg/l 以下	0.01mg/l 以下	0.0005mg/l 以下	検出されないこと
項目	PCB	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
基準値	検出されないこと	0.02mg/l 以下	0.002mg/l 以下	0.004mg/l 以下	0.02mg/l 以下	0.04mg/l 以下	1mg/l 以下
項目	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ
基準値	0.006mg/l 以下	0.03mg/l 以下	0.01mg/l 以下	0.002mg/l 以下	0.006mg/l 以下	0.003mg/l 以下	0.02mg/l 以下
項目	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素		
基準値	0.01mg/l 以下	0.01mg/l 以下	10mg/l 以下	0.8mg/l 以下	1mg/l 以下		

備考 1：基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
2：「検出されないこと」とは、測定方法の欄(省略)に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
3：海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。(以下、省略)

資料：「公共用水域及び地下水の水質調査結果」新潟県